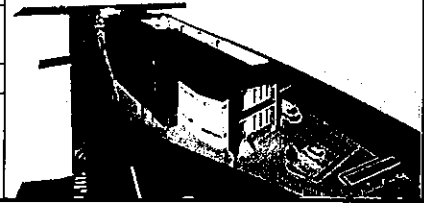


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)学校給食センター新築等工事	階数	地上2F
建設地	京都府京田辺市草内禅定寺外地内	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年7月15日
敷地面積	3,083 m ²	作成者	小川 龍二
建築面積	1,695 m ²	確認日	2022年7月20日
延床面積	2,158 m ²	確認者	上村 崇



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	99%
③上記+②以外の	95%
④上記+	95%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	3.2
温熱環境	1.7
光・視環境	3.3
空気質環境	3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	3.0
耐用性	2.9
対応性	2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	2.5
非再生材料の	2.5
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.0
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。 2.0% ≤ [昼光率] < 2.5%。照度が500lx以上1000lx未満。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	事務室の天井高2.7m以上。 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI _{lm} = 0.59。	LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物に対して95%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される